



知っておきたい 子どもがかかりやすい主な感染症



子どもは、病気にかかりながら、徐々に抵抗力を身につけていきます。重症化しやすい感染症もあり、乳幼児ではとくに注意が必要な場合があります。そこで、子どもがかかりやすい主な感染症とその予防法を取り上げました。大切なお子さまの為に感染症について理解しておきましょう。何よりも早期受診や予防接種で感染症から身を守ることが一番大切です。



薬剤師
はるな
おだいじにしてください

子どもの症状を見るポイント




顔・表情 ・顔色が悪い ・ぼんやりしている ・目の動きに元気がない	鼻 ・鼻水、鼻つまりがある ・くしゃみがある ・息づかいが荒い
口 ・唇の色が悪い ・唇、口の中に痛みがある ・舌が赤い ・口の中が荒れている	目 ・目やにがある ・目が赤い ・まぶたが腫れぼったい ・涙目である ・眩しがる
胸 ・呼吸が苦しそう ・せき、喘鳴（ゼイゼイ、ヒューヒュー）がある ・せきで吐く	のど ・痛がる ・せきが出る ・赤くなっている ・声がかすれている
皮膚 ・赤く腫れている ・ポツポツと湿疹がある ・水疱、化膿、出血がある	睡眠 ・泣いて目が覚める ・目覚めが悪い
皮膚 ・回数、量、においが普段と違う	便 ・回数、量、色、固さが普段と違う ・下痢、便秘などの症状がある
食欲 ・普段より食欲がない	おなか ・張って触ると痛がる ・股の付け根が腫れている

こんな症状の時はすぐにお医者さんへ！！
 ●生後3か月以内の高熱(38℃以上) ●呼吸困難 ●意識障害 ●けいれん ●元気がなくぐったりしている ●ひどい嘔吐が続く ●脱水症状があるなど

熱の出る感染症

溶連菌感染症

かかりやすい年齢：0～6歳
主な流行時期：通年



- のどの痛みと腫れ、吐き気
- 39度近い突然の発熱
- リンパ節の腫れ
- 全身に広がるかゆみのある発疹
- いちご舌
- ＜潜伏期間＞ 2～5日
- ＜合併症など＞ 腎炎、リウマチ熱

<予防とケア>
 高熱やのどの痛みから始まるため、風邪との見分けがつかないこともあります。発熱の症状が出た時点で、すぐに受診をすすめることで予防しましょう。

ヘルパンギーナ

かかりやすい年齢：1～4歳
主な流行時期：夏～秋



- のどの痛み
- 38～40度近い突然の発熱
※4～5日ほど熱は下がる
- のどの奥にできる小さな水疱
- ＜合併症など＞ 熱性けいれん、脱水
- ＜潜伏期間＞ 2～4日

<予防とケア>
 手洗いとうがいで予防しましょう。のどの痛みが強く、食事や水分がとりにくくなるので、のどごしのよい食事をとるようにしましょう。

咽頭結膜炎（プール熱）

かかりやすい年齢：0～6歳
主な流行時期：夏



- のどの腫れと痛み
- 38度以上の高熱
※熱は3～5日続く
- 目の充血
・まぶたの裏の赤み
・目やに
・涙
- ＜合併症など＞ 出血性膀胱炎、まれに脳炎
- ＜潜伏期間＞ 5～7日

<予防とケア>
 感染力が強いため、子どもがよく触るものはこまめに水びきするようにしましょう。高熱が出るので、脱水には気をつけて、こまめに水分補給をしましょう。

流行性耳下腺炎（おたふくかぜ）

かかりやすい年齢：2～6歳
主な流行時期：冬～春




- おなかや頭が痛い吐き気がする
- 38度前後の発熱
- 片方または両側の耳下腺の腫れと痛み
※耳下腺・耳の後ろからあごにかけてのリンパ節
- ＜合併症など＞ 髄膜炎、難聴
- ＜潜伏期間＞ 14～24日

<予防とケア>
 1歳から任意接種が受けられます。子どもが耳をしきりに触ったり、「耳が痛い」「食べるときにあごや耳が痛い」と訴えるときは注意が必要です。

発疹の出る感染症

突発性発疹

かかりやすい年齢：0～2歳
主な流行時期：通年



- 熱が下がる頃に顔や胸、おなか背中に赤い発疹
- 38度以上の高熱
※生まれて初めての発熱であることが多い
- ＜潜伏期間＞ 約10日
- ＜合併症など＞ 熱性けいれん、脳症

<予防とケア>
 この病気で初めて発熱するという子どもが多く、ほとんどの子どもが経験する病気です。予防より、落ち着いて対処するようにしましょう。熱が下がるまでは安静にして過ごしましょう。

手足口病

かかりやすい年齢：1～6歳
主な流行時期：夏

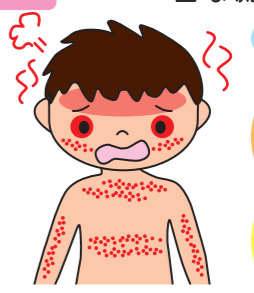


- 発熱や下痢、嘔吐を伴うことがある
- 口の中、手のひら、足のうらに水疱
※おしりやひざに水疱ができることもある
- ＜潜伏期間＞ 3～5日
- ＜合併症など＞ まれに脳炎、脳症

<予防とケア>
 手洗いとうがいで予防しましょう。口の中にできた水疱がしみて痛むので、のどごしのよい食事をとるようにしましょう。

麻疹（はしか）

かかりやすい年齢：2～6歳
主な流行時期：春




- 結膜炎
- せき、鼻水など風邪に似た症状
- 38度近い発熱
※一度下がり再度発熱する
- 全身に出る赤い細かい発疹
※二度目の発熱後に現れる
- ほおの内側に白い斑点（コプリック斑）
- ＜合併症など＞ 肺炎、脳炎、中耳炎、気管支炎、結膜炎
- ＜潜伏期間＞ 10～12日

<予防とケア>
 1歳になったら、麻疹・風疹混合ワクチン（MR混合）を必ず接種しましょう。栄養があって消化のよいものを与え、水分もこまめに補給するようにしましょう。

風疹（三日ばしか）

かかりやすい年齢：2～6歳
主な流行時期：通年



- 目の充血
- せき、鼻水など風邪に似た症状
- 38度前後の熱
- 胸や顔などから赤くかゆみを伴う発疹
- 耳の後ろのリンパ節の腫れ
- ＜合併症など＞ 関節炎、血小板減少性紫斑病、脳炎
- ＜潜伏期間＞ 14～21日

<予防とケア>
 1歳になったら、麻疹・風疹混合ワクチン（MR混合）を必ず接種しましょう。麻疹ほど熱は出ないので、比較的元気ですが、安静に過ごすようにしましょう。

感染症から守るために

- 潜伏期間を知りましょう。
 病原体が体内に侵入してから症状が現れるまでには、潜伏期間（一定の期間）があります。早期受診や感染拡大防止のためには、乳幼児がかかりやすい感染症の潜伏期間を知っておくとよいでしょう。
- 予防接種で身を守り、周りへの感染を防ぎましょう。
 感染症の中には、予防接種で免疫をつけることで、予防できるものがあります。予防接種の内容をよく理解した上で受けましょう。
- 普段からの元気なときの平熱を知っておきましょう。
- 感染症を防ぐために手洗いとうがいの習慣をつけましょう。
- せきが出るときはマスクをつけましょう。



はるな薬局 栗生外院店
〒562-0025 箕面市栗生外院1-11-21 TEL: 072-749-3531 FAX: 0120-87-3532

はるな薬局 宮の前店
〒562-0023 箕面市栗生間谷西3-7-7 TEL: 072-737-5077 FAX: 0120-75-5078

はるな薬局 恵我之荘店
〒583-0885 羽曳野市南恵我之荘2-9-5 TEL: 072-931-6366 FAX: 0120-31-6367